

特定医療法人社団 春日会

黒木記念病院

通所リハビリセンター くろき

病院案内



日本医療機能評価機構認定病院



すべての人々の健康を守り、 幸せな生活を支援する医療法人 春日会であること。

- 1.地域に密着した医療法人春日会としての使命を果たすべし
- 2.その人が望み、かつふさわしい全人的医療・看護・介護・予防を行うべし
- 3.医療法人春日会職員としての自覚と情熱をもつべし



理事長
黒木 健次

医療法人黒木記念病院は、日本一の温泉湧出量を誇る大分県別府市の北のはずれ、別府八湯のひとつの亀川温泉郷にあります。

別府温泉リハビリテーションを核として、一般急性期医療から回復期リハビリテーション、慢性期医療（介護保険病棟を含む）、在宅医療（各種訪問サービス、通所リハビリを含む）まで担うケアミックス型の病院で、昭和28年10月の創立以来、地域に密着した医療・看護・介護・予防を展開しています。

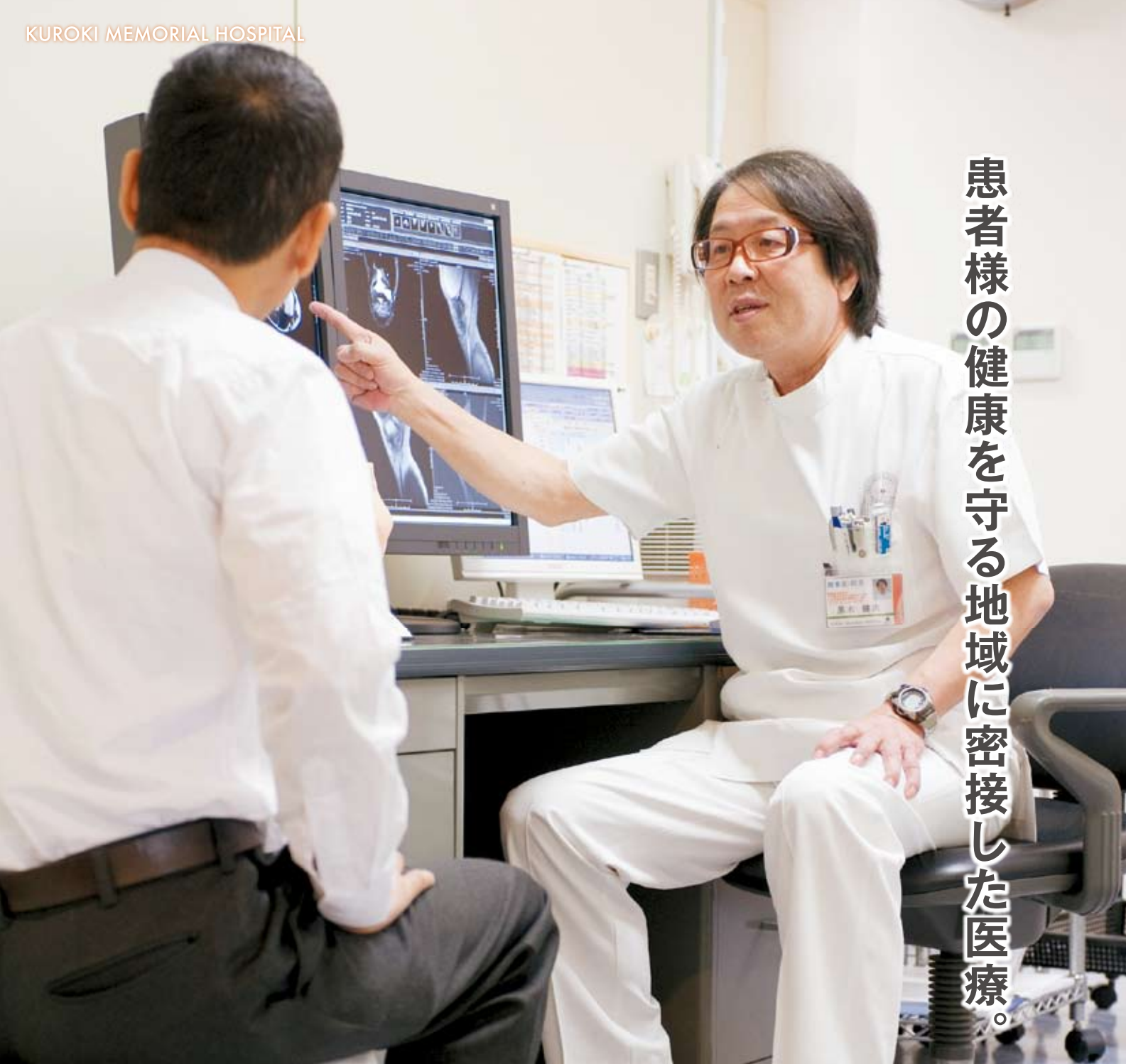
平成11年4月には、最新の医療に対応し、アメニティを考慮した療養環境の新病院をオープンしました。

患者様には優しく、アットホームな雰囲気を心掛け、職員は良質な全人的医療・看護・介護・予防を提供できるように日々研鑽しています。



- 1.個人の尊厳
- 2.平等な医療を受ける権利
- 3.最善の医療を受ける権利

- 1.自己決定権
- 2.説明及び報告を受ける権利
- 3.秘密保持とプライバシーの権利



患者様の健康を守る地域に密接した医療。

外来・診療部門

外来・診療部門の特徴

●整形外科

打撲・ねんざ・骨折などの外傷をはじめ、年齢とともに起こる関節の痛み、腫れ、変形、また、肩こり、腰痛や首の痛みなど脊椎の疾患、スポーツ障がいなどを扱います。単に病気やケガを治すだけでなく、元の状態に出来るだけ近く機能を回復させるためにリハビリテーションにも力を入れています。当院の医師の他、別府発達医療センター医師や、大分大学医学部医師も担当しています。必要であれば手術も行います。

●リハビリテーション科

リハビリテーション専任医の指示の下に各専門のスタッフが連携し、それぞれの患者様の症状目的にあわせてリハビリテーションを行っています。

●一般外来・消化器外科

胆石症、鼠径ヘルニアなどの良性疾患から、胃がん、大腸がんなどの悪性腫瘍に対する手術、外傷に対する外来処置を行っています。消化器内科と協力し、早期がんに対しては積極的に内視鏡治療を行っています。

●一般内科

内科全般にわたる治療を行っています。その他、循環器科は一般内科とは別に専門的な外来を行っています。当院の医師の他、大分大学医学部医師、九州大学病院先進医療センター医師も担当しています。

●消化器・内視鏡センター

内視鏡を使つての食道・胃・十二指腸・大腸の検査、ポリープ・がんの切除などの治療や、膵臓、胆石のERCPを用いた検査、治療などを行っています。他の診療科から独立しているので、より高度で待ち時間の少ない診療体制が可能になっています。

●リウマチ科

リウマチの症状は多様で、特に発病初期の頃は個人差が大きく、診断が困難な場合があります。早い時期から正しい治療を行えば、多くの場合骨の変形がほとんど起こらないようにできますので、専門的知識を持った当院での診察をお勧めします。

●放射線科

放射線科医の仕事は、撮影した画像を元に診断を下すことです。多くの病気の診断において画像診断はなくてはならないものです。当科では放射線技師4名と協力して、院内・院外の医師から依頼を受け画像診断に携わっています。

●麻酔科（ペインクリニック）

痛みの診断治療を専門に行っている科です。痛みのほか、しびれ、だるい感じなど、腰痛や肩こりの症状に対して、神経ブロックを中心に治療を行い、痛みを消失・緩和させることで、日常生活機能と生活の質の維持・向上を目的としています。

●呼吸器内科

長く続く、せき、しつこいたん、つらい息切れ、レントゲンの異常など呼吸器の病気を診るための内科です。肺炎治癒後や慢性閉塞性肺疾患のリハビリ、喘息の外来治療、肺がんの診断・治療、嚥下機能評価などを中心に診療しています。



●待合室



検査・治療機器

1.5テスラMRI装置をはじめ、ヘリカルCT、腰椎・大腿骨用骨密度測定装置などの機器を備えています。また、高気圧酸素療法も行なっています。



●1.5テスラMRI



●コンピュータ断層撮影装置(CT)



●高気圧酸素治療装置



●内視鏡検査



●超音波診断装置(エコー)



●心電図



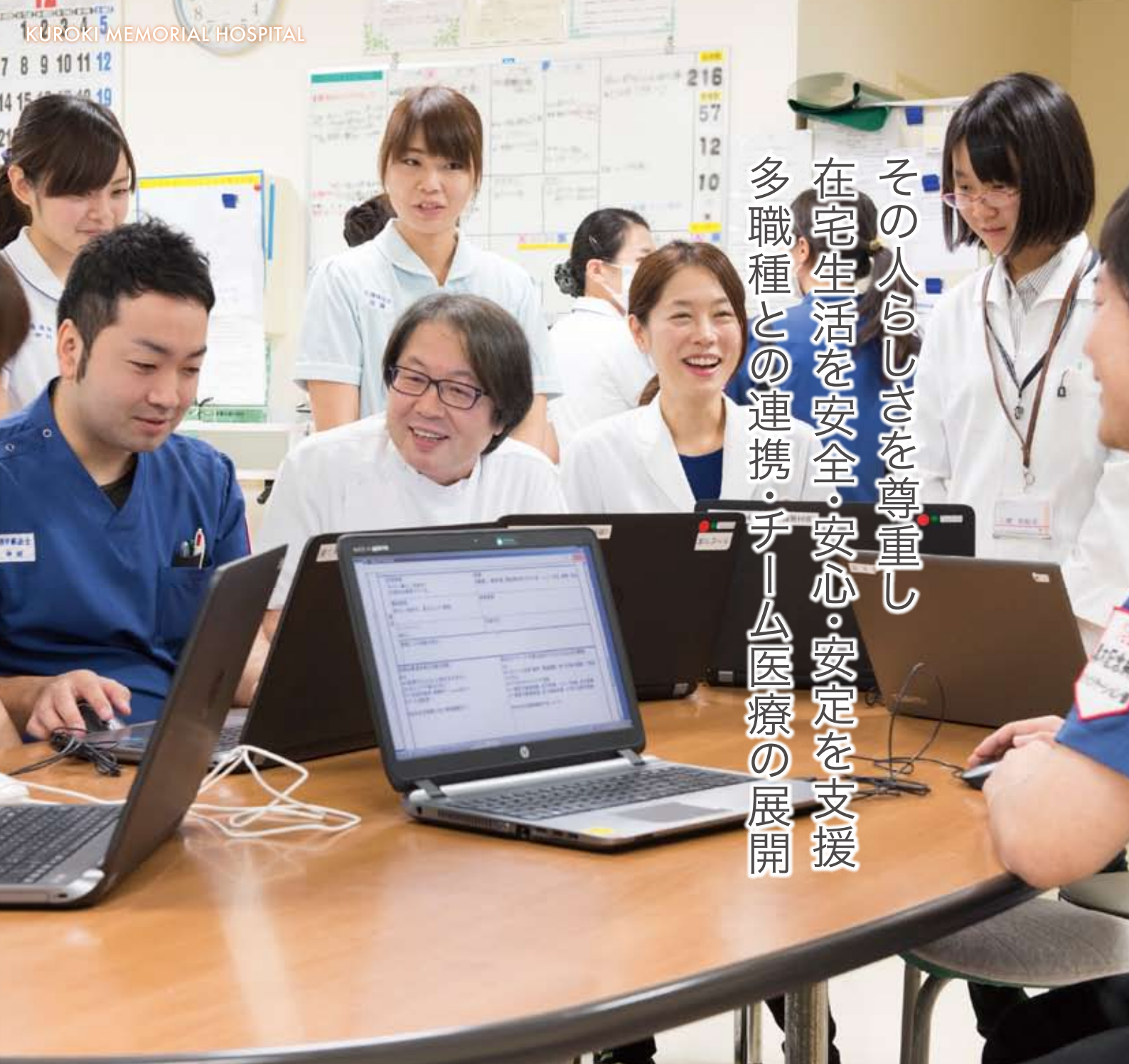
●生化学検査



●ME室



●手術室



その人らしさを尊重し
在宅生活を安全・安心・安定を支援
多職種との連携・チーム医療の展開

病棟部門

病棟部門の特徴

病院内の大浴場、介護浴室のお湯はすべて別府温泉を使用しています。

●3F 介護療養型医療施設(介護保険対応)【52床】

介護保険対応の病棟で、要介護度が重度の入所様を中心にケアを提供するため、基準を上回る人員配置を行い、より充実した看護・介護サービスを提供しています。

●4F・5F 回復期リハビリテーション病棟【各階57床】

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折、脊髄損傷などの患者様に対して、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー等が、共同でADL能力による寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションプログラムを作成し、それに基づきリハビリテーションを集中的に行う病棟です。上記のようなリハビリテーションを要する状態の患者様が、常時80%以上入院しています。

●6F 一般急性期病床【44床】

ICUやHCUの機能を持ち、手術患者・重症患者・検査入院など急性期医療を主体としている病棟です。診療科全般の入院に対応しており、病状の変化に迅速に対応できるよう体制が整えられています。

●7F 地域包括ケア病棟【16床】

急性期の医療が一段落し、状態が徐々に安定してく過程で在宅復帰に向けて効果的で密度の高い医療を提供する病棟です。



●別府湾展望の大浴室(7F)



●ナースステーション



●歯科衛生士による口腔ケア



●病室(6F・7F 個室)



●食堂

入院時食事治療(I)を取得し管理栄養士による特別管理の食事を適時・適温で提供しています。また、患者様の状態に応じた特別食も提供しています。



●廊下

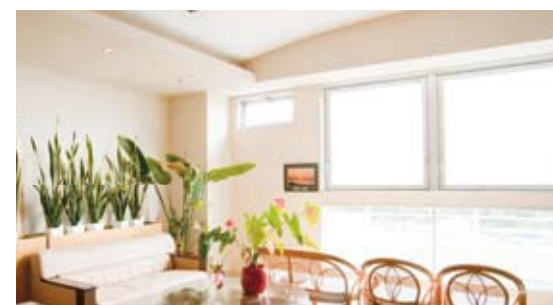


●病棟からの別府の眺望



●病室(3F・4F・5F・6F 4床部屋)

病室は1床あたり8㎡以上で各ベッドに窓が付いており、明るく広い空間は、個室に近い感覚でプライベートが保たれやすいようになっています。また各病室にトイレが設置されています。



●ラウンジ(7F)

カンファレンス

より効果的な医療サービス・リハビリテーションを提供するために、カンファレンス(患者様の情報交換と話し合いにより方針を出す場)を毎月、医師・看護師・リハビリテーションスタッフ等で行い、リハビリテーション総合実施計画書を作成し、実践しています。



●病棟回診



●病棟訓練室



患者様の一日でも早い回復のために。



●リハビリテーション室
患者様一人一人に最適な運動療法・物理療法などを組み合わせ、身体機能の改善を図ります。

リハビリテーション部門

リハビリテーション部門の特徴

●幅広い患者様へのリハビリテーション

急性・亜急性期の患者様から回復期病棟対象者の集中的なリハビリテーションをはじめ、維持期病棟や、通所、訪問、障がい者ケアサポートセンターの患者様まで、一貫したリハビリテーションをご提供しています。

●多職種スタッフによるチームアプローチ

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、音楽療法士、歯科衛生士、マッサージ師などのスタッフが連携し、急性期・回復期から生活期に至るまで一貫したリハビリテーションを提供します。

●充実した機能訓練室

1Fには560㎡の広い訓練スペースがあり、さらに各病棟にも訓練スペースを確保しています。

●365日のリハビリテーション提供体制

効果的・集中的なリハビリテーションを行うため、365日、休みなくリハビリテーションを実施しています。

●訪問リハビリテーション

利用者の方が活き活きと生活できるように目標を設定し、運動や介助方法の指導等を行っています。「もう一度ごはんを作れるようになりたい。」「もう一度家のお風呂に入りたい」等の希望がかなえられるように療法士と一緒に考え活動をお手伝いします。

これらのサービス体制により、周囲の医療機関からも高い信頼と期待をいただいています。



●理学療法

運動療法、教育指導、マッサージ、電気等を治療手段とし、痛みの緩和、循環の増加、障がいの予防と改善、力、可動性の改善および協調性の最大回復を目的としています。



●訪問リハビリテーション



●言語聴覚療法

言語障がい(失語・構音障がいなど)や、摂食嚥下障がい(食べる機能の低下により、ものを食べたり飲み込んだりがしにくい状態)のある方に対して訓練を行い、その機能の維持・向上を目指します。



●物理療法

温熱や電気、牽引、マッサージなどで物理的な刺激を与えて行う治療です。主に痛みやシビレの緩和、むくみ、循環の問題軽減を図ります。



●温泉歩行訓練プール

浮力により関節にかかる負担を減らしながら、水の抵抗を利用し、筋力増強、心肺機能を強化します。温泉を利用することで、温熱効果やリラクゼーション効果なども得られます。



●作業療法

日常生活活動などを通じて心身機能の回復を図り、日常生活の諸動作の自立を目指した援助をいたします。



ロボットスーツ HAL®福祉用導入

ロボットスーツHAL®福祉用は、脚に障がいを持つ方々や脚力が弱くなった高齢の方々の脚力・歩行機能をサポートし、歩くことの素晴らしさを取り戻す為に開発された、自立動作支援ロボットです。当院ではリハビリテーションの補助ツールとして導入しています。

病気、医療や介護、生活に対する不安、疑問、悩み、緊急時…

そんな時は、私たちにご相談ください。

初診・再診の方

例えば、こんなお悩みの時に…

- 体が熱っぽいな風邪かな？
- 胃腸の調子がよくないな
- 1度痛めた腰がずっと痛い
- サッカーをして足をくじいた！
- 大けがをした！
- 生活上の悩み、誰かに相談したい
- 入院・通院したけど経済的に不安
- 家族だけで介護する自信がない
- 施設への入所ってどうするの？
- 他院でセカンドオピニオンを受けたい

診療・診断・処置

受付～診療

受付にて保険証を提出後、
受診申込書にご記入ください。
患者様を知るために詳しい問診を摂ります。

問診 → 検査 → 診療

必要に応じて各種検査を行います。

薬の処方

診療後、
リハビリや
入院など
それぞれの
診療に応じて
ご案内
いたします。

優先的に処置・検査へ！

医療ソーシャルワーカー室 受付時間／午前8:30～午後5:00

困ったことがあれば、
どんな事でもご相談ください。
ご相談は無料です。

医療ソーシャルワーカーは、入院・外来を問わず、悩みや不安をお持ちの全ての方を対象とし支援しております。他職種と連携し、患者様やご家族様に安心して入院生活または在宅生活をお送りいただけるよう努めております。ご相談は守秘義務を厳守し、また利用料金は一切かかりません。お困りの事がありましたらお気軽にご相談ください。お電話または来院時に、受付にて医療ソーシャルワーカーをお呼びください。

患者様の権利「最善の医療を受ける権利」に則り、セカンドオピニオンに協力させていただいております。そのことで、当院での診療に問題が発生することはありません。セカンドオピニオンを受ける場合は、主治医へご相談ください。

他病院にかかりつけの医師がいる方・他病院に入院中または他施設へ入所中の方

検査(CT・MRTなど)を予約したい

退院と言われたけどまだ不安…

自宅近くの病院を紹介して欲しい

診療情報提供書を
FAX・持参・郵送の
いずれかにて
ご提出ください。

**FAX.0977
27-8771**

地域医療連携室

地域社会と連携し、より良い医療を
提供しています。

地域の各医療機関が相互に連携することで、それぞれの機能や特色を最大限に発揮し、地域の皆様により質の高い医療を安心して受けていただくための窓口です。主な業務としては、各医療機関からの①診療に関する問合せ ②入院依頼、MRI・CTなどの検査予約受付 ③入院日・診療・検査結果報告 など迅速に対応しています。また、外部から当院への要望を伝えたり、当院から外部へ情報を伝える役割も担っています。

お電話もしくはご来院ください。**TEL.0977-67-1211**
お電話でお問合せいただくと受診がスムーズです。



●レクリエーションの様子

通所リハビリテーションセンターくろき

「生き生きとした自分らしい生活への手助け」



当センターは、医師・看護・介護・リハビリの職員が充実しており、利用者一人一人に合った個別のケアを行っております。例えば病前は専業主婦だったという利用者様へは家事動作の練習や、園芸が趣味だった利用者様へは地面にしゃがみこむ練習に取り組んでいます。また、隣接する黒木記念病院との連携により、緊急時も早急に対応でき、利用者様・ご家族様にも安心して当センターをご利用いただけます。

当センターの特徴

- 利用者様・ご家族をはじめとする、関係事業所・当センター医師・看護・介護・療法士が一同に会し、利用者様の生活の目標について話し合います。
※機能が向上し、目標を達成した利用者様へは新し運動の場や施設の提案を致します。
- 自主性を重んじる所通リハビリであるので、「自分で出来ることほ自分で行をう」をスローガンに取り組んでいます。
- 利用者様一人一人の生活に合わせた運動メニューを「サーキットトレーニング」と称し、利用者様ご自身で運動を行ってもいらます。
- 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がご自宅に伺い、実際の場面での運動指導・家事指導・食事指導を行います。
- 重症度の高い利用者（人工肛門のある方、経管栄養を必要とする方など）でも受け入れを行い、機能の維持を図ります。



ご利用案内	
営業時間	午前8:30～午後4:00
お休み	日曜日 年末年始(12月31日～1月3日)
定員	1日40名
ご利用対象	介護認定を受けられている方
料金	介護度によって異なります。

●詳細はお問い合わせください

●通所リハビリテーションセンターとは
在宅にて生活している介護認定をうけられている方々に対し、運動・作業・言語療法などを通じて安定した日常生活を維持向上できるよう、心身機能のリハビリテーションを実施するものです。お食事、温泉入浴、レクリエーションなど快適に楽しくすごしていただけます。

お問い合わせ・お申し込み
TEL.0977-67-1212
FAX.0977-67-1233

KUROKI MEMORIAL HOSPITAL INFORMATION

■ご利用案内

受付時間 午前8:30～11:30 午後1:00～4:30
 診療時間 午前9:00～午後5:00
 ※救急患者は時間外でも受付・診療致します。
 診療日 月曜日～土曜日
 休日 日曜日・祝日・盆休(8/14・15)、年末年始(12/31～1/3)
 ※救急患者はこの限りではありません。

■診療科目

整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・内科・消化器内科・循環器内科
 呼吸器内科・神経内科・外科・麻酔科(ペインクリニック)・放射線科・皮膚科

	内科		消化器科		放射線科		外科		整形外科		麻酔科(ペインクリニック)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
月	●	●			●	●	●		●	※	●	
火	●	●			●	●	●		●		●	
水	●	●					●		●	※		
木	●	●	●		●	●	●		●	※		
金	●	●			●	●	●	●	●		●	
土	●	●			●				●	※	●	

皮膚科……隔週土曜日(午前) 骨粗鬆症外来……毎週水曜日(午前)

※整形外科の午後の診察は、手術などの都合により時間が変わることがあります。
 来院される際は、電話にてご確認ください。

■交通案内



- JR日豊本線 ○別府大学駅より徒歩10分
 ○亀川駅より車で5分
 ○別府駅より車で10分
- 大分自動車道別府I.C.より車で15分
- 照波園バス停より徒歩3分

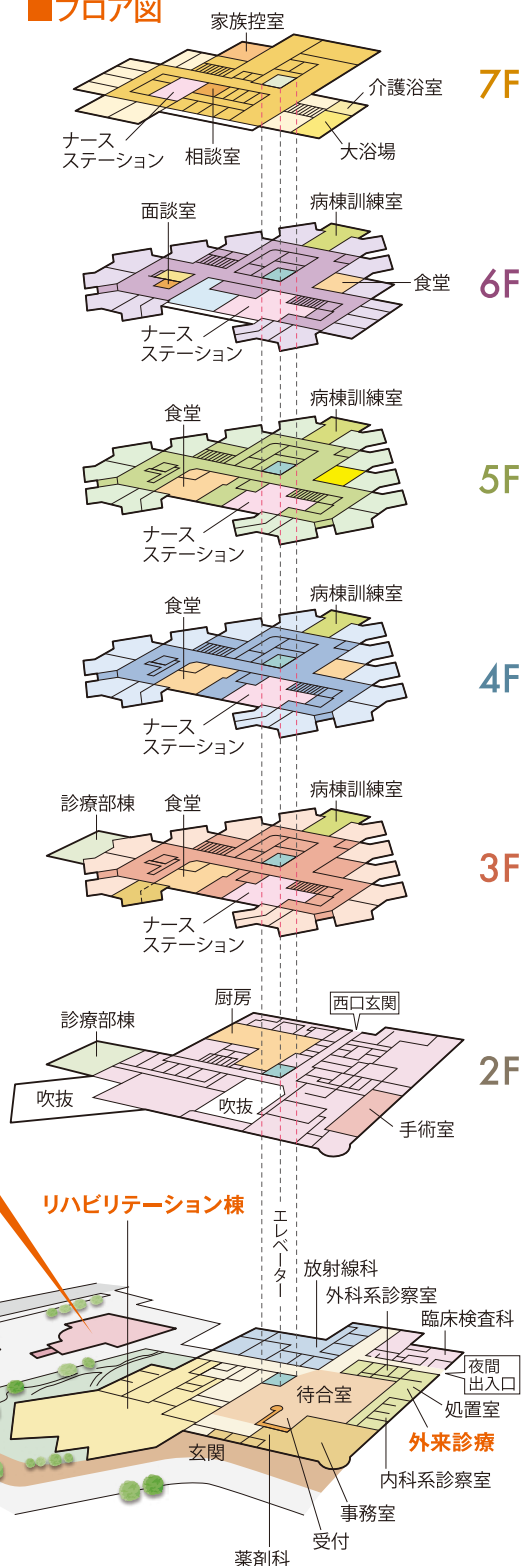
総合ケアセンターくろき

- 居宅介護支援センターくろき
TEL.0977-27-6200
- 訪問看護ステーションくろき
TEL.0977-66-6928
- 住宅型有料老人ホーム きずな
TEL.0977-27-6767
- 障がい者ケアサポートセンター愛・愛
TEL.0977-27-6767

医療法人春日会は、在宅医療まで担うケアミックス型で、地域に密着した医療・看護・介護を展開しています。

- デサービスセンターくろき
TEL.0977-84-7186
- ヘルパーステーションくろき
TEL.0977-84-7168
- 看護小規模多機能型居宅介護くろき
TEL.0977-84-7184

■フロア図



特定医療法人社団 春日会

黒木記念病院

〒874-0031
 大分県別府市照波園町14番28号
 TEL.0977-67-1211
 FAX.0977-66-6673
<http://www.kuroki-hp.or.jp>
 E-mail info@kuroki-hp.or.jp

